

個人住民税の定額減税について

日本経済をデフレーションに後戻りさせないための措置の一環として、令和6年度税制改正において、令和6年分の所得税および令和6年度分の個人住民税において定額減税が実施されることとなりました。個人住民税の定額減税の概要は次のとおりです。

対象者

・前年の合計所得金額が1,805万円以下の個人住民税所得割の納税義務者

減税額

・本人、配偶者を含む扶養親族1人につき、1万円減税

※1. 定額減税の対象は、国内に住所を有する人に限ります。

※2. 同一生計配偶者および扶養親族の判定は、原則、前年12月31日の現況によります。

※3. 控除対象配偶者以外の同一生計配偶者がいる場合は、令和7年度分の個人住民税において1万円の定額減税が行われます。

令和6年度分 徴収方法（定額減税の対象者）

①給与所得に係る特別徴収（給与所得者）

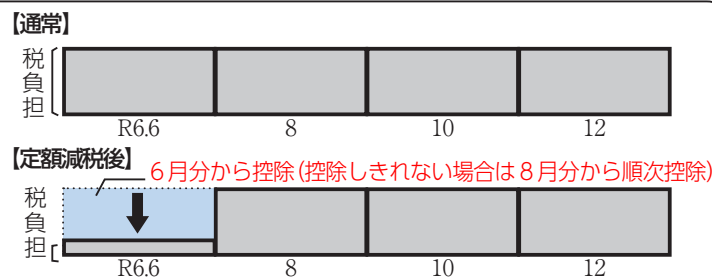
令和6年6月分は徴収されず、定額減税された後の税額を11か月（令和6年7月分～令和7年5月分）で平均にした税額が徴収されます。

$$\left[\text{令和6年度分 定額減税（本人含む扶養親族の人数} \times 1 \text{万円）} \right] \div 11 \text{ か月}$$



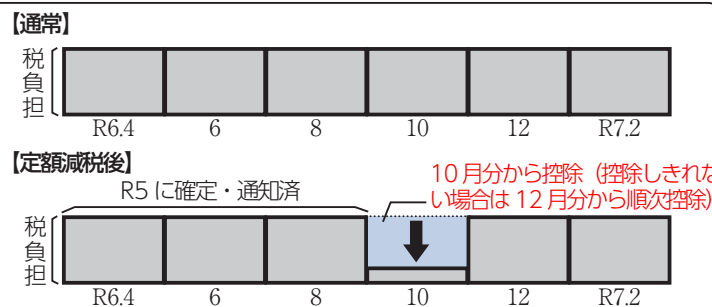
②普通徴収（事業所得者など）

定額減税される前の税額をもとに算出された第1期分（令和6年6月分）の税額から控除され、控除しきれない場合は、第2期分（令和6年8月分）以降の税額から、順次控除されます。



③公的年金などに係る所得に係る特別徴収（年金所得者）

定額減税される前の税額をもとに算出された令和6年10月分の特別徴収税額から控除され、控除しきれない場合は、令和6年12月分以降の特別徴収税額から、順次控除されます。



その他

減税額については、納税通知書の裏面または特別徴収税額通知書の摘要欄に記載があります。定額減税は、住宅ローン控除や寄附金税額控除など、すべての控除が行われたあとの所得割額から減税されます。

減税しきれない場合は、別途給付金（調整給付）が支給されます。給付金の詳細は内閣官房ホームページ「新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置」をご参照ください。

・<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/benefit2023/index.html>

また、所得税（国税）の定額減税の詳細は、国税庁ホームページ「定額減税特設サイト」をご参照ください。

・<https://www.nta.go.jp/users/gensen/teigakugenzei/index.htm>

不審なメールや電話にご注意ください

※国税庁（国税局、税務署を含みます）などから、「定額減税の関係で還付を受けられるので」と切り出し、個人情報（銀行の口座番号や暗証番号など）をメールや電話でお聞きすることはありません。

問財務政策課課税係

雄武町でオーロラが観測!!



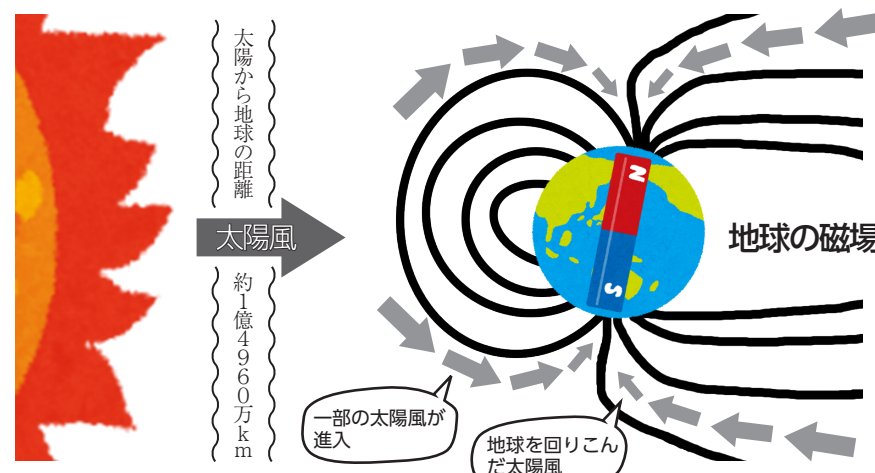
オーロラとは、太陽から吹き流された電子などを含むプラズマの風（太陽風）が地球の大気中の原子や分子とぶつかることで発光する大気の発光現象です。

では、なぜ北極・南極圏でよく観測されて、それ以外の地域ではあまり観測されないのでしょうか。

地球の周りには、磁石のように巨大な地場（磁力が働く空間）が形成されています。この地場が、大部分の太陽風が地球に侵入するのを防ぐ働きをしています。

しかし、北極と南極を起点・終点とする磁力線の流れに沿って、一部の太陽風が北極・南極圏に流れ込んできます。

このため、オーロラは主に北極・南極圏で発生します。



オーロラの色は、太陽風が何とぶつかって発光するかによって変化します。

オーロラが出現する電離層（上空100km～500km）には、主に酸素と窒素があり、高度によってその密度が違います。太陽風が酸素原子とぶつかるると白っぽい緑色、より密度が高いと赤色、窒素分子なら紫色や青色に発光します。

低緯度オーロラとは

5月に雄武町でも観測されたオーロラのように、低緯度地域で発生するものは「低緯度オーロラ」と呼ばれます。

低緯度オーロラが見られる原因は、太陽が活発になる周期が関係しています。

太陽は活動の低下と活発化を約11年周期で繰り返していて、活発化したときに太陽の表面で起こる大爆発（太陽フレア）に伴い発生する猛烈な磁気嵐が地球の磁場にぶつかることで、北極・南極圏といった高緯度地域でしか見られないオーロラが、日本などの低緯度地域でも見られるようになります。

特に今回は、5月8日から11日までの間に、数十年に一度レベルの大規模な太陽フレアが8回発生したため、ハワイでも164年ぶりにオーロラが観測されたそうです。

また、低緯度オーロラは、北極付近で出現したオーロラが低緯度地域から見ると、下半分の緑色が地平線などで隠され、上半分の部分が見えているため、赤い光が大半を占めていて、夕焼けのように空の一部が赤く染まって見えるのが特徴だそうです。

北海道で観測できる条件

低緯度オーロラは、陸別町や稚内市など北海道の一部地域でも太陽活動の周期や次の条件が揃った時に観測できる可能性があるようです。

今年、太陽が活発期であることから北海道でもオーロラを見られやすい年だそうです。

時期 11月～翌年3月ごろ

時間 20時～23時

気象 無風、空気が澄んで乾燥している、晴天、暗闇

運が良ければ、オーロラをまたみることができるともいわれていますので、ぜひ、夜空を見上げてみてください。

参考

・宇宙兄弟OFFICIALWEB「オーロラはどうやって見えるの？その仕組みを4コマでお伝えします」
<https://koyamachuya.com/contents/39301/>

・Astronauts「日本など各地で低緯度オーロラを観測」
<https://www.astronauts.co.jp/article/h/a/13575-aurora>

・PREZIO「北海道でオーロラが見れる場所は？この時期はいつ？発生確率や2023年のデータも紹介」
<https://prezio.jp/column/8476#header2>